資　料　２

出雲市中小企業・小規模企業振興計画　令和6年度の目標値/達成値

NO.	1
基本方針	１　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	１－２ 観光産業の回復
目標項目	観光入込客数
	H30年度　1,162万人/年　→　（R9年度目標）1,350万人/年
成果指標	出雲市における観光入込客数
	【令和6年度目標値】1,200万人/年
現状と成果	令和6年の達成値は1,172万人であり、目標値の1,200万人を下回ることとなった。
課題と対策	入込客数減少の主要因と思われるものは、7 月に発生した県道大社日御碕線の崩落により、約2か月間、日御碕地区への一般車両の通行ができなくなったことである。これについては、すでに通行が再開しており、また、復興支援のための各種キャンペーンが実施されている。
評価段階	達　成　状　況
5	目標を大きく上回った。（目標の103%以上）
4	目標を大きく上回った。（目標の102%以上）
3	目標を達成した。
2	目標を下回った。
1	目標を大きく下回った。（目標の97%を下回った。）

NO.	2
基本方針	１　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	１－２ 観光産業の回復
目標項目	観光消費額
	R3年度　37,113百万円　→　（R9年度目標）58,028百万円
成果指標	出雲市における観光消費額
	【令和6年度目標値】53,180百万円 ※なお、観光基本計画の目標値は、令和6年度54,050百万円、令和9年度61,440百万円と定めている。
現状と成果	令和6年の達成値は622.2億円であり、目標値の540.5億円を大きく上回ることになった。
課題と対策	目標値を大きく上回ったものの、物価上昇の影響も大きいと考えられ、取組みの成果といえるかは判然としない。もっとも、宿泊者数の増加が観光消費額増加に寄与していることは疑いないので、宿泊者数や滞在時間の延長を引き続き目指していく。
評価段階	達　成　状　況
5	目標を大きく上回った。（目標の103%以上）
4	目標を大きく上回った。（目標の102%以上）
3	目標を達成した。
2	目標を下回った。
1	目標を大きく下回った。（目標の97%を下回った。）

NO.	3
基本方針	1　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	1－2　観光産業の回復、1－6 販路開拓の推進
目標項目	出雲ブランド商品認定数［累計］
	R3年度累計　26商品　→　（R9年度目標）　39商品
成果指標	新規2商品の認定とし、累計で30商品とする
	【令和6年度目標値】 30商品（4商品/年）
現状と成果	令和6年度認定商品数は3件、累計は29商品となり、目標を下回った。
課題と対策	認定件数を増やすために、まず申請してもらえるよう、候補となる商品の掘り起こしを行うとともに、魅力ある認定制度を構築する必要がある。
評価段階	達　成　状　況
5	4商品以上を認定した。
4	3商品を認定した。
3	2商品を認定した。
2	1商品を認定した。
1	1商品も認定ができなかった。

NO.	4
基本方針	1　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	1－2　観光産業の回復、1－4　IT産業の活性化、1－6 販路開拓の推進 1－10　地域内での経済循環の促進
目標項目	ビジネスマッチングによる商談成約件数［累計］
	R3年度　41件　→　（R9年度目標）　345件
成果指標	中海・宍道湖・大山圏域で実施するビジネスマッチング商談・展示会、NPO法人ミライビジネスいずもで行うマッチングの成約件数
	【令和6年度目標値】 180件
現状と成果	集計中
課題と対策	
評価段階	達　成　状　況
5	マッチング件数が170件以上だった。
4	マッチング件数が150件以上だった。
3	マッチング件数の目標を達成した。
2	マッチング件数が100件以上だった。
1	マッチング件数が100件未満だった。

NO.	5
基本方針	１　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	１－３　生産性向上に向けたデジタル化等の推進、設備投資への支援 １－４　IT産業の活性化、１－５　積極的にチャレンジする企業を応援
目標項目	IT企業従事者数
	R3年度　456人　→　（R9年度目標）　570人
成果指標	IT企業従事者の増加
	【令和6年度目標値】525人
現状と成果	集計中
課題と対策	
評価段階	達　成　状　況
5	従事者数の目標を大きく上回った。
4	従事者数の目標を上回った。
3	従事者数の目標と同数だった。
2	従事者数の目標の5割以上だった。
1	従事者数が目標の5割未満だった。

NO.	6
基本方針	１　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	１－６ 販路開拓の推進
目標項目	「おいしい出雲」認定数［累計］
	R4年度　133商品　→　（R9年度目標）　168商品
成果指標	「おいしい出雲認定数」の累計値を指標とする。 ※令和5年度が第4期募集の初年度であったため、R4年度から認定数は減少している。
	【令和6年度目標値】 123商品（15件/年を目安とする）
現状と成果	認定数は116商品となり、目標値を下回った。
課題と対策	新規申請が少ないことが課題であり、認定制度の魅力や価値を周知する必要がある。
評価段階	達　成　状　況
5	130商品以上を認定した。
4	125商品以上を認定した。
3	認定数が目標を達成した。
2	認定数が122商品以下だった。
1	認定数が110商品以下だった。

NO.	7
基本方針	１　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	１－９　地域商業の支援、１－１０　地域内での経済循環の促進
目標項目	出雲市地域商業等支援事業費補助金 確定数
	～R3年度平均　5件/年　→　（R9年度目標）　6件/年
成果指標	出雲市地域商業等支援事業費補助金 確定数
	【令和6年度目標値】 6件
現状と成果	補助金新規募集数が8件であり目標値を達成した。昨年度からの継続については3件の申請があった。
課題と対策	令和4年度から改修費を補助対象経費に追加し、1件あたりの申請額が増えているため補助件数が限られてしまう。補助上限額を下げるなどして、補助件数を増やすことを検討するなど、仕組みの見直しが必要。
評価段階	達　成　状　況
5	補助金確定数が8件以上だった。
4	補助金確定数が7件だった。
3	補助金確定数が6件だった。
2	補助金確定数が5件だった。
1	補助金確定数が4件以下だった。

NO.	10
基本方針	１　事業発展（経営基盤強化・成長促進）の支援
推進施策	１－１３　産学官金連携の推進
目標項目	産学官連携マッチング支援（事業化）件数[累計]
	R2、R3年度　3件　→　（R9年度目標）　27件
成果指標	島根大学や島根県立大学等にマッチング支援する件数
	【令和6年度目標値】 15件（11件/年）
現状と成果	累計マッチング数が4件、令和6年度は0件であり、目標値を大きく下回った。
課題と対策	令和7年6月末で大学側の担当の教授が退任し、その後新体制になる予定である。新体制になったら意見交換をして目標達成を目指す。
評価段階	達　成　状　況
5	マッチング件数の目標を上回り、かつ市が関与するマッチングが4件以上だった。
4	マッチング件数の目標を上回り、かつ市が関与するマッチングが2件以上だった。
3	マッチング件数の目標を上回った。
2	マッチング件数の目標の5割以上だった。
1	マッチング件数が目標の5割未満だった。

NO.	11
基本方針	２　人材の育成・確保・定着
推進施策	２－１　市内中小・小規模企業の人材確保支援
目標項目	技能検定合格者数
	R3年度　44人/年　→　（R9年度目標）　50人/年
成果指標	島根県に検定合格者数を確認し、出雲市における合格者数を抽出する。
	【令和6年度目標値】 50人
現状と成果	合格者数は30人であり目標値を下回った。ただし、令和4年度の27人からは増加がみられる。
課題と対策	受験者が、令和5年度76人⇒令和6年度61と減少しているので受験者を増やし、人材確保支援を行う必要がある。
評価段階	達　成　状　況
5	合格者数の目標を大きく上回った。
4	合格者数の目標を上回った。
3	合格者数の目標と同数だった。
2	合格者数の目標の5割以上だった。
1	合格者数が目標の5割未満だった。

NO.	12
基本方針	２　人材の育成・確保・定着
推進施策	２－２　県外学生・UIターン就職希望者の市内中小・小規模企業への就職支援
目標項目	学生・UIターン就職支援窓口相談者のうち市内就職者数
	R3年度　31人/年　→　（R9年度目標）　62人/年
成果指標	学生・UIターン就職支援窓口での相談者数のうち市内就職者数
	【令和6年度目標値】50人/年
現状と成果	相談者数、就職者数ともに昨年度より減少し、市内就職者数は29人となった。
課題と対策	市内就職者数がR5年度よりも減少している。R7年度のいずも学生登録と学生就職サポーター公式LINEの統合や、学生登録を行った学生へのいずも縁結びPAY行政ポイントの付与等、キャンペーン期間中に登録学生を増やし、地元企業への関心を高め、一人でも多くの市内就職者を増やす。
評価段階	達　成　状　況
5	学生・UIターン就職支援窓口での相談者のうち市内就職者数が目標を大きく上回った。 （110%以上）
4	学生・UIターン就職支援窓口への相談者のうち市内就職者数が目標を上回った。 （105%以上）
3	学生・UIターン就職支援窓口への相談者のうち市内就職者数が目標を達成した。
2	学生・UIターン就職支援窓口への相談者のうち市内就職者数が目標を下回った。
1	学生・UIターン就職支援窓口への相談者のうち市内就職者数が目標を大きく下回った。 （80%以下）

NO.	13	
基本方針	２　人材の育成・確保	
推進施策	２－２　県外学生・UIターン就職希望者の市内中小・小規模企業への就職支援	
目標項目	①企業との交流会参加学生数、②いずも学生登録者数	
	①47 人/年（R1年度） → （R9年度目標）80人/年 ②304 人（R3年度） → （R9年度目標）1,600人/年	
成果指標	①企業との交流会参加学生数　②いずも学生登録者数	
	【令和6年度目標値】①80人/年　②820人/年	
現状と成果	①イベント全体の参加者数は達成したが、大学のイベント開催日と重複したこと等から、県外における交流会への学生参加数が伸びなかった。 ②令和6年度から「いずも学生登録」の対象を高校１年生まで拡大したが、周知不足から全体の登録者数が増えなかった。	
課題と対策	①県外の集客に苦慮しているため、タイパコスパを重視する若年者に対応するため、来年度からWEBによる交流会に切り替える。 ②高校生のキャリアメールに対する認識が薄いため、次年度から登録方法をLINEに統一する。また、高校の長期休業期間前に早期に周知を行う。	
評価段階	達　成　状　況	
目標項目	①	②
5	参加人数の目標を達成し、参加者アンケート結果として、良好な回答が90%以上ある。	目標を大きく上回った。（目標の110%以上）
4	参加人数の目標を達成し、参加者アンケート結果として、良好な回答が80%以上ある。	目標を上回った。（目標の105%以上）
3	交流会参加人数が目標を達成した。	目標を達成した。
2	交流会参加人数が目標を達成していない。	目標を下回った。
1	交流会を実施できなかった。	目標を大きく下回った。（目標の90%未満）

NO.	14
基本方針	２　人材の育成・確保
推進施策	２－１　市内中小・小規模企業の人材確保支援、２－２　市内中小・小規模企業の人材確保支援、２－３　子ども・若者への魅力発信
目標項目	「いずもな暮らし」及び「IZUMOZINE」 ホームページコンテンツアクセス件数
	R3年度　33.3万件/年　→　（R9年度目標）　52万件/年
成果指標	各ホームページコンテンツアクセス件数の合計
	【令和6年度目標値】 44.2万件/年
現状と成果	令和6年度は56.0万件のアクセスがあり、目標を大きく上回った。
課題と対策	IZUMOZINEについては、令和3年度から実施していたデジタルマーケティングが令和7年度に終了する中、引き続きウェブサイトへのユーザー誘導をするため、コンテンツそのものの魅力を高めていく必要がある。
評価段階	達　成　状　況
5	コンテンツへのアクセス件数が目標を大きく上回った。（120%以上）
4	コンテンツへのアクセス件数が目標を上回った。（110%以上）
3	コンテンツへのアクセス件数が目標を達成した。
2	コンテンツへのアクセス件数が目標を下回った。（90%以下）
1	コンテンツへのアクセス件数が目標を大きく下回った。（80%以下）

NO.	15
基本方針	２　人材の育成・確保
推進施策	２－３　子ども・若者への魅力発信
目標項目	就職希望の市内高校新卒者の市内就職率
	R3年度　66.3%　→　（R9年度目標）　70%
成果指標	令和6年度も同水準を維持するため、70%を目標とします
	【令和6年度目標値】70%
現状と成果	就職内定率は100%に近いが、近年、進学希望者が多いことから、高校新卒者の市内就職率が伸び悩んでいる。令和6年度63.7%となり、令和5年度と比較して市内就職率が減少した。
課題と対策	高校卒業後の進学希望者が増える中、一人でも多くの地元就職者を増やすため、いずも産業未来博等を活用し、小中学生へ早期にふるさと・キャリア教育を行う必要がある。
評価段階	達　成　状　況
5	市内就職率の目標を10%上回っている。
4	市内就職率の目標を5%上回っている。
3	市内就職率の目標を達成した。
2	市内就職率の目標を5%下回っている。
1	市内就職率の目標を10%下回っている。

NO.	16
基本方針	２　人材の育成・確保
推進施策	２－３　子ども・若者への魅力発信
目標項目	いずも産業未来博の体験型企画参加人数
	R4年度　11,500人　→　（R9年度目標）12,000人
成果指標	いずも産業未来博の体験型企画参加人数
	【令和6年度目標値】12,000人
現状と成果	参加人数は16,500人(1日目7,000人、2日目9,500人)と過去最高を記録した。
課題と対策	令和6年度は県イベントとの同時開催を行ったことから多くの来場があった。 引き続き、実行委員会等の意見を反映しながら企画運営を行っていく。
評価段階	達　成　状　況
5	参加人数の目標を達成し、子ども・若者へのアンケート結果として、市内の企業・産業を知る機会の提供となったとの回答が90%以上ある。
4	参加人数の目標を達成し、子ども・若者へのアンケート結果として、市内の企業・産業を知る機会の提供となったとの回答が80%以上ある。
3	未来博の体験型企画参加人数が目標を達成した。
2	未来博の体験型企画参加人数が目標を達成していない。
1	未来博を中止した。

NO.	17
基本方針	２　人材の育成・確保
推進施策	２－１　市内中小・小規模企業の人材確保支援、２－３　子ども・若者への魅力発信 ２－４　働き方の多様化への啓発実施
目標項目	職場定着向上支援セミナー受講者数
	R3年度　66人/年　→　（R9年度目標）100人/年
成果指標	職場定着向上支援セミナー受講者数及び実施回数　30名程度×3回
	【令和6年度目標値】100人/年
現状と成果	出雲地区雇用推進協議会総会とイクボスセミナーを同時開催して参加者数が増えたため、目標値を超える106人となった。
課題と対策	事業者の興味のあるセミナーを開催し、今後も多様な働き方の参考となるようなセミナーとなるよう検討が必要。
評価段階	達　成　状　況
5	参加人数の目標を達成し、参加者アンケート結果として、良好な回答が90%以上ある。
4	参加人数の目標を達成し、参加者アンケート結果として、良好な回答が80%以上ある。
3	セミナー参加人数が目標を達成した。
2	セミナー参加人数が目標を達成していない。
1	セミナーを実施できなかった。

NO.	18
基本方針	２　人材の育成・確保
推進施策	２－４　働き方の多様化への啓発実施
目標項目	ワーク・ライフ・バランス研修実施事業所数
	～R2年度平均　3事業所/年　→　（R9年度目標）　5事業所/年
成果指標	企業向け出前講座の実施事業所数の増加
	【令和6年度目標値】　5事業所/年
現状と成果	本研修については毎年6月末までに企業から希望を募り、講師と日程調整のうえ、希望のあった企業で研修を実施している。研修実施事業所数が5事業所となり目標値を達成した。
課題と対策	各企業の研修日程の都合からか、秋に問い合わせをされるケースがある。本事業の取組についてより周知を図り、申し込み時期などについて知ってもらう必要がある。
評価段階	達　成　状　況
5	5事業所以上
4	4事業所
3	3事業所
2	2事業所
1	1事業所以下

NO.	19
基本方針	２　人材の育成・確保
推進施策	２－４　働き方の多様化への啓発実施
目標項目	イクボス宣言登録企業数[累計]
	R5年1月　3事業所　→　（R9年度目標）　50事業所
成果指標	イクボス宣言登録企業数の増加
	【令和6年度目標値】令和6年度末累計：35事業所（R5年度末現在：25事業所）
現状と成果	登録企業数の累計が36事業所となり目標値を達成した。 イクボス宣言登録企業数の増加に向けた取組として、イクボスに係るセミナーとアドバイザー派遣の実施や、出雲市HP上にて登録企業の掲載をしている。また、令和6年度末で初めて更新期限を迎えたため、更新手続きについて、対象事業所に周知した。
課題と対策	登録後も継続的に取り組んでいただけるよう情報交換の機会を設けたり、訪問等も行いながら、早めに更新手続きのお知らせをする必要がある。今後継続的に登録数を増加するため、未登録の企業に対し、企業の事例紹介やセミナーへの参加などについて、周知・アプローチを検討していく必要がある。
評価段階	達　成　状　況
5	35事業所以上
4	34事業所
3	33事業所
2	32事業所
1	31事業以下

NO.	20
基本方針	３　事業承継支援と創業支援
推進施策	３－１　事業承継の支援
目標項目	事業承継計画策定数[累計]
	R2、R3年度　50件　→　（R9年度目標）　200件
成果指標	単年度策定数を25件とし、累計数を75件とする
	【令和6年度目標値】 125件
現状と成果	集計中
課題と対策	
評価段階	達　成　状　況
5	単年度50件以上
4	単年度30件
3	単年度25件
2	単年度20件
1	単年度15件以下

NO.	21
基本方針	３ 円滑な事業承継支援と創業支援
推進施策	３－２ 創業支援
目標項目	創業件数[累計]
	R2、R3年度 108件 → （R9年度目標） 390件
成果指標	相談した者や講座を受講した者のうち、創業に至った数を単年度40件、累計で270件とする
	【令和6年度目標値】 270件（40件/年）
現状と成果	創業件数はR6年度は58件、累計288件であり、目標値を上回った。
課題と対策	創業件数は堅調であり、継続して支援する必要がある。
評価段階	達 成 状 況
5	単年度60件以上
4	単年度50件
3	単年度40件
2	単年度30件
1	単年度20件以下